令和6年度　年間授業計画

教　科：芸術　　科　目：美術Ⅱ　　単位数：2

対象学年：第2学年

使用教材	教科書：	高校生の美術２（日本文教出版）
	補助教材：	なし

教科（　芸術　）の目標

【知　識　及　び　技　能】	芸術に関する各科目の特質について理解するとともに，意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	創造的な表現を工夫したり，芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い，豊かな情操を培う。

科目（　美術Ⅱ　）の目標

【知　識　及　び　技　能】	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに，意図に応じて表現方法を創意工夫し，個性豊かで創造的に表すことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	造形的なよさや美しさ，表現の意図と創造的な工夫，美術の働きなどについて考え，主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり，自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み，生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに，感性と美意識を高め，美術文化に親しみ，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

令和6年度　年間授業計画　科目（　美術Ⅱ　）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			絵・彫	デ	映						
1学期	単元　油彩による模写	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○				次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	4
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	油絵の具の使用方法を理解し、表現の技術を学ぶ。	油絵の具の使用方法とその表現方法					油絵の具の使用方法を理解し、表現の技術を身に付けている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	観察力、思考力、表現力を高め、自らの作品に反映できる技法を身に付ける。	油絵具用品（絵具、画溶液、パレット他）、新聞紙、教科書等					観察力、思考力、表現力を高め、油彩の技法を身に付けている。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	根気強く観察し、手数を惜しまず作者の表現に迫っていく。道具類の扱い方を身に付ける。	振り返りシート					根気強く制作に取り組み、準備・片付けを主体的に行っている。				
	単元　イメージを色や形で表す	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○		○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	14
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	感覚、音などのイメージを、形や色、構図などの効果を考えて表現を創意工夫し、創造的に表す。	抽象表現について					形や色、構図などの効果を考えて表現を工夫し、創造的に表している。				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	自身の感覚やイメージから主題を生成し、具象に頼らない形や色などで構成する表現の構想を練る。	ワークシート、参考作品、トーナルカラー、カッティング用品、接着用品					主題を生成し、抽象的な形や色などによる表現の構想を練っている。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	対比イメージを、色や形、画面構成の工夫により伝わるように表現する創造活動に、主体的に取り組む。	振り返りシート					抽象による表現と鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。				
	単元　あかりのデザイン（原型制作）	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○			○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	12
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	照明具の原型となる塑像表現を、表現意図に基づき、材料や用具を生かして創造的に表す。	照明具について、粘土による立体造形の制作方法					原型となる立体を,材料や用具を生かして創造的に表している。				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	使う人や設置する場所などを検討して主題を生み出し、表現の構想を練る。	ワークシート、参考図書、芯材用品（廃材、針金等）、油粘土、ヘラ等の用具					使う場所などを考えて主題を生み出し、表現の構想を練っている。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	使う人や設置する場所に合うあかりを創る表現の活動に主体的に取り組む。	振り返りシート					原型を創る表現の活動に主体的に取り組んでいる。				

令和6年度　年間授業計画　科目（　美術Ⅱ　）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			絵・彫	デ	映						
2学期	単元　あかりのデザイン（照明具制作）	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○			次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	14
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的に表す。	照明具の制作方法（張り子技法）					材料や用具、表現方法の特性などを生かし、創造的に表している。				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	材料の特性や光の効果、美しさなどを考えて表現の構想を練る。鑑賞の活動を通して見方や感じ方を深める。	和紙、和紙接着剤、刷毛、トレー、板材、のこぎり等					材料の特性や光の効果等を考えて表現の構想を練っている。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	主体的に材料の特性を生かして照明具を創る表現活動に取り組む。鑑賞の学習活動に意欲的に取り組む。	振り返りシート					材料の特性を生かして創る表現の活動に、主体的に取り組んでいる。				
	単元　身近なモノ・ヒトを描く（油画）	指導項目に対し、次の教材等を活用する。					次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	身近なもの、人を見つめ、自分の思いなどから主題を生成し、画材の特性を生かしながら、色や質感などを工夫して表す。	油絵の具の使用方法とその表現方法					画材の特性を生かしながら、意図に応じて創造的に表している。				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	ものや人に対する自分の思いなどから主題を生成し、形や色、構図などについて考えて創造的な表現の構想を練る。	ワークシート、油絵具用品（絵具、画溶液、パレット他）、新聞紙、教科書等	○			○	身近なものから主題を生成し、意図に応じて表現の構想を練っている。	○	○	○	16
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	主体的に身近なものや人を見つめ、自分の思いなどをもとにした表現の創造活動に積極的に取り組む。	振り返りシート					主体的に主題を見つけ、油彩画の創造活動に意欲的に取り組んでいる。				

令和6年度　年間授業計画　科目（　美術Ⅱ　）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			絵・彫	デ	映						
3 学 期	単元　版による表現	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○			○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	10
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	主題に合った表現方法を創意工夫し、版表現の特性を生かして創造的に表す。	凹版画を用いたエッチング表現					主題に合う表現方法を工夫し、版表現の特性を生かして創造的に表している。				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	想像したことなどから主題を生成し、版の特性を生かした形や色、構図などの表現の構想を練る。	ワークシート、エッチング用品					主題を生成し、版の特性を生かした表現の構想を練っている。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	主体的に主題を探し、版画ならではの表現活動やに意欲的に取り組む。	振り返りシート					版を用いた表現の鑑賞や創造的な活動に主体的に取り組んでいる。				

合計
70